

令和7年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業内容

No	事業名	団体名	事業内容
1	かもフェス～出会いを楽しむ大忘年会	かもフェス実行委員会	鴨宮北口商店街にて地域の商店や子どもの遊び場等を設けてゆっくり楽しめるイベントを開催する。シャッターの下りた店舗が増えてきている商店街に賑わいと活気を一時的に創出し、参加者はもちろん、地域住民や地域の商店の人などに体感してもらうことで、地域の中に賑わいがある暮らしの良さや楽しさといった価値を見直してもらうきっかけにする。
2	声で繋がる子どもと大人の「声の万華鏡」	声の万華鏡実行委員会	朗読や読み聞かせ、民話語り、落語等、子どもからお年寄りまで様々な語り手が一堂に集い、交流して、声の文化を広める機会を創る。同時に、子どもたちが元気にあいさつできるよう、音読や民話語りで集う「子どもの声の万華鏡」を実施し、声を出す大切さを広める。
3	「あの夏の絵」の公演	エコリック／あの夏の絵小田原公演実行委員会	エコリックがあの夏の絵上演会実行委員と一般社団法人青年劇場とタイアップして演劇「あの夏の絵」を8/2(土)に小田原三の丸ホールにて上演する。また、上演に向けた雰囲気醸成するため、関連企画として講演会とワークショップも開催する。
4	野外彫刻メンテナンス事業	おだわらミュージアムプロジェクト／文化政策課	上府中公園には1990年に開催された小田原城野外彫刻展の入選作品10点が展示されている。34年を経過した作品は汚れや劣化が見られ、メンテナンスが必要である。市民、行政との協働により、作者や専門家の指導の下、作品メンテナンスや鑑賞ツアーを実施する。
5	福祉キッズフェスタ in 小田原	県西スマイロネット	神奈川県西エリアにおける初の体験型福祉機器展として、障害のある子ども達、その保護者に最新の福祉用具・遊びの体験とリハビリ関係者による専門相談の場を提供する。
6	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原周知セミナー	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原は、障害のある子のご家族の悩みや相談の内容に対してワンストップで解決の方向をご案内する活動をしていく。今回は、特定非営利活動法人悠遊楽舎代表理事の明石紀久男さんをお招きしてセミナーを催し、障害のある子の「親なきあと」相談室小田原の周知を図る。また、年度内に数回のミニセミナーを実施予定。
7	子どもの教育環境についての啓発活動「ゆめパのじかん」上映会&講演会	トーキョーコーヒー鴨宮 withゆりゆりルーム	未来を担う子どもにとって、今必要な教育環境について考える機会を提供することを目的として、「ゆめパのじかん」上映会と茶話会を開催する。併せて、長年不登校支援やひきこもり支援を行っている認定NPO法人フリースペースたまり場(川崎市)理事長による講演会を開催する。
8	いじめのない社会へ「いじめストップ！ピンクシャツデー」事業	ピンクシャツデー小田原実行委員会	小田原において、市民に「いじめをなくそう」という意識の向上を促し、さらなる意識醸成、多様性社会・共生社会の啓発を図ることを目的として、ピンクシャツデーチャリティイベント「いじめストップ！ピンクシャツデー」を開催。トークや音楽、朗読等を通じ、いじめのない社会づくりを啓発する。朗読する文章や詩は「いじめのない共生社会」をテーマに公募し、子どもから大人まで多くの二兎に考えてもらう機会とする。
9	乳がん啓発「ピンクリボン運動」を中心とするがん検診啓発事業	ピンクリボンぶらさ ODAWARA 女性のがんと考える会/健康づくり課	乳がん検診をはじめとするがん検診について、一般市民の理解を深め、検診受診率の向上と健康への関心を高めるよう、市健康づくり課と協働で取り組む。具体的な手法として、がんの早期発見・早期治療の推進につなげる目的で、医療者によるがんの正しい知識やがん体験者の声などを届ける講演、トークイベント、啓発展示、啓発物配布などを実施する。一昨年、昨年に続き、秋に集中してイベントを行うことで、乳がん啓発ピンクリボン月間(10月)の地域への定着を目指す。